

■ 2009年度 入試問題分析シート ■

東北大学

前期日程

科目	国語(漢文)
----	--------

試験時間	120分	満点(配点)	文400点、経済200点、法・教育300点	出題数	現代文2題、古文1題、漢文1題
------	------	--------	-----------------------	-----	-----------------

総括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

問題文の字数は218字で昨年よりも微増した。設問の数・種類はほぼ昨年と同じだが、昨年はなかった白文問題が、書き下し問題で復活した。なお口語訳問題や説明問題は、昨年と同様、返り点が付されていた。

〈合格への学習対策〉

基本的な学習を通じて、あるレベル以上の学力を身につけていれば、合格点をとれる。出題されたのは「未」「況」「豈非…乎」「悪」など基本的な句法ばかりである。

問題分析(本文)

問題番号	類別(ジャンル)	出典(著者)	コメント(特徴・出題頻度など)	本文のレベル
四	論説	李穀『稼亭先生文集』巻七所収「借馬説」	問題文の長さは昨年よりもやや長くなり、内容は昨年と同程度の難易度だった。ジャンルは論説文で、一昨年度以来の出題。ここ数年、東北大では逸話と論説が隔年で出題されている。	標準

設問分析

問題番号	設問番号	設問形式	設問内容(特徴・解答上のポイントなど)	設問のレベル
四	(一)	記述	傍線の箇所を読み(すべて平仮名で) [2題]	標準
	(二)	記述	書き下し(すべて平仮名で) [2題]	標準
	(三)	記述	口語訳 [1題]	標準
	(四)	記述	傍線の箇所の理由説明(30字以内)	標準
	(五)	記述	傍線の箇所に関する内容説明(50字以内)	標準

「本文のレベル」と「設問のレベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。